

八幡平市議会活動レポート

議会改革研修会



「地方議会のあり方」の研修会風景

議会改革の一環で研修会を実施

12月9日に、市議会改革推進会議主催の研修会を開催しました。株式会社岩手日報社、編集局報道部第二部長、熊谷宏彰氏、同じく八幡平支局長、及川慶修氏を講師に迎え、熊谷氏からは「地方議会のあり方」、及川氏からは「地元から見た市議会」を演題に講演していただきました。参加議員からは議員の発信力について、議員定数の定め方についての質問が出され、報道記者の視点から質問に答えていただき、大変参考になりました。

次は 3 月定例会（予定）

期 日	内 容
2月18日(木)	市長施政方針演述 ほか
2月19日(金) ～ 3月2日(火)	休会
3月3日(水)～5日(金)	会派代表質問、一般質問
3月6日(土)・7日(日)	休会
3月8日(月)～10日(水)	一般質問、議案審議、 予算特別委員会
3月11日(木)～14日(日)	休会
3月15日(月)～17日(水)	予算特別委員会
3月18日(木)	休会
3月19日(金)	予算特別委員会
3月20日(土)～22日(月)	休会
3月23日(火)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する人は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。

令和2年12月定例会の視聴回数は323回です。
9月定例会の視聴回数は571回でした。
(令和3年1月7日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

繁殖育成センターの飼養頭数は、乳用牛と肉用牛を合わせて最大〇〇〇頭を予定しています。

■応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールで応募ください。正解者の中から抽選で5人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。

■あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp

■しめ切り 令和3年3月5日(金)(当日消印有効)

■前回(No61)の正解 13(件)
応募者 22人 正解者 22人

第2回臨時会

会期11月4日
(1日間)

○建設工事の請負契約など3議案を可決

【議案第1号】 繁殖育成センター建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

八幡平市平笠地内に17億4990万円で繁殖育成センターを建設するものです。センターの飼養頭数は、最大で乳用牛400頭、肉用牛450頭を予定しています。

【議案第2号】 財産の取得に関し議決を求めることについて

GIGAスクール構想の実現に向けて、市内小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット型端末を整備します。生徒・教師・指導者用に合わせて1491台を1億5367万円で購入するものです。

第3回臨時会

会期11月30日
(1日間)

○給与改定条例・補正予算など9議案を可決

【議案第1号】 八幡平市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に基づいて国の一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律が成立しました。同法に準じて、期末手当の額を改正するものです。

委員会活動報告

産業建設常任委員会

■期日・場所 10月26日・八幡平市内
■内容 産業建設常任委員会所管の令和2年度主要事業等に係る市内視察調査

田代平周辺ほか7カ所の視察調査

株式会社太極舎が、旧八幡平トラウトガーデンの建物を改装し開業した、八幡平市初のクラフトビール醸造所を視察した。日本名水百選に選定された金沢清水湧水とドイツの有機無農薬麦芽を使った4種類のオーガニックビールを生産する。工場の施設内見学と岡部社長のビールにかける抱負を拝聴した。地熱・天然水といった地元の自然を活用し、「人に自然にやさしく」をモットーとしたこのビールは、市内の宿泊施設や首都圏での販売拡大を目指しており、市の観光名所や名水の魅力を伝える商品として期待が高まっている。



4種類のドラゴンアイビールの紹介

教育民生常任委員会

■期日・場所 10月28日・大更小学校
■内容 市内小学校のパソコン導入による情報化教育の実態調査

算数の授業でプログラミング学習

大更小学校のパソコン教室において、5年生の算数の授業を視察した。担当教諭と機器のトラブルに対応するメーカーのサポートを受けて、ヤフーキッズのプログラミングアプリを使い倍数と公倍数を求める内容であった。1人1台のパソコンで、どの児童も手際よくパソコンの操作をして、答えを導き出していた。実際に授業を見学することで、小学校の情報化教育の現状が分かり、理解を深めることができた。



真剣に学習に取り組む大更小学校の児童たち